

チャレンジ

- 2012.07.23 Monday
- 10:33

県の合唱祭も終わり、今年度は大きなイベントもないということで技術委員会で話し合い、思い切って小さいグループで小曲を発表し合って自分たちの声を聴き、音程等修正できる耳を養う、という目標を設定することにした。

「とってもいい試みですね」とボイトレ毛利先生も全面的に賛成。

その前に宗教曲で少々緊張し、縮こまり気味な声をもっとのびのびと前に出すべく、女声は「ゴスペルなんかどうかしら？」と先生お勧め。そこで天使にラヴソングより「Oh Happy Day！」地声中心のような気がするから「不安だ〜」「むつかし〜」の団員の声。何事にも新しい試みは不安だし、体が拒否する？(笑)いやいや毛利先生は「ゴスペル、戸惑いがあるみたいですね(^_-) 結構皆さんが意識してない、苦手な部分ができるかなー？と思って聞くのを楽しみにしています」とのこと。

さあ、我々のどんな面を伸ばしていただけるか楽しみ。

男声は定番の「いざ立て戦人よ」なかなかいい雰囲気練習中。
和雄先生のご指導でさらにパワーアップ！



新たな試みで試行錯誤だけれど、何か小さな収穫でもあればラッキーで参ります。

ここ1週間あまり、目使用禁止だったため今日は久々のPC。

テレビも観ず、ラジオ・CD三昧。

↓ はほんの一部。



このところクラシックピアノ界は中国の「牛牛くん」と言い、

「牛」が付く人の活躍が目覚ましい。

現在中1の牛田智大クンのデビューアルバムは内容がバラエティに富んでいて中でもプーランクの即興曲第15番ハ短調「エディットピアフを讃えて」が弾きたい！とそそられた。

大学時代プーランクのミサを歌ったけれど響きが自分の感覚になじまず(/_:/)

プーランク……ピアノでは私にとっては新しい試み。